

経営比較分析表（令和元年度決算）

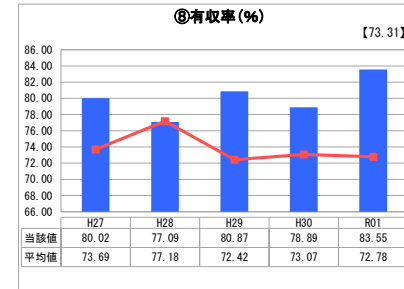
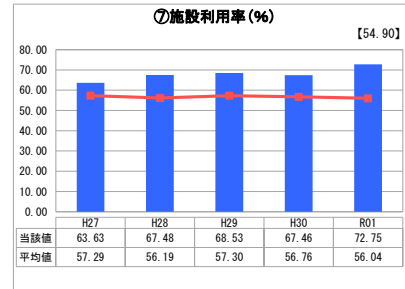
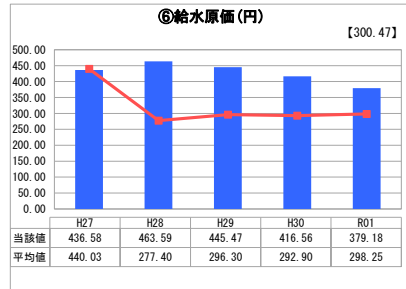
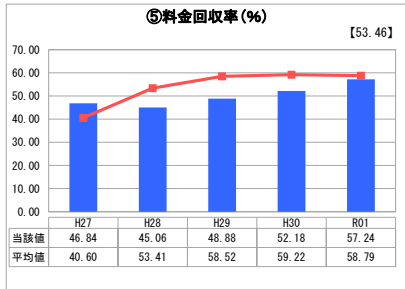
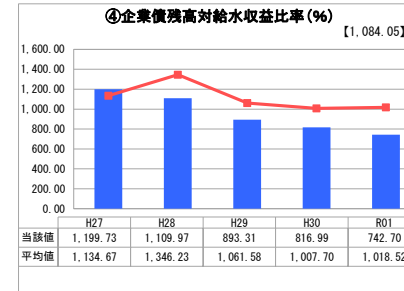
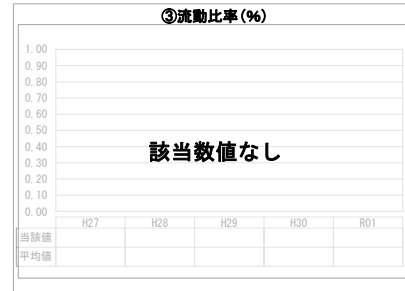
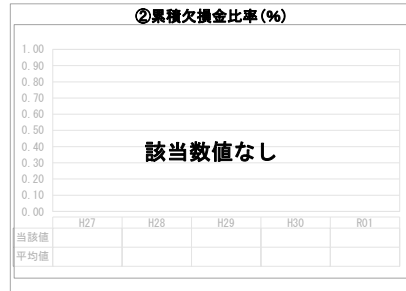
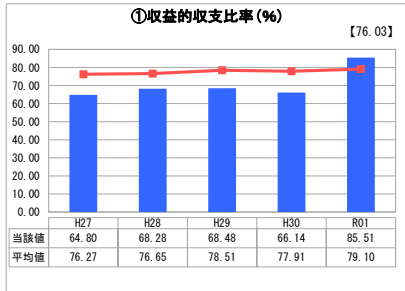
熊本県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	該当数値なし	47.97	3,960	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,903	144.00	68.77
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,718	40.10	117.66

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率について（H30決算）66.14%から（R1決算）85.51%と19.37Pt増加しているが、経費回収率は57.24%であり料金収入のみで賄えておらず、一般会計からの繰入金により不足額を補填している状況にある。

②該当数値なし。

③該当数値なし。

④企業債残高対事業規模比率について、地方債償還額の減少等により前年比△74.29Ptとなっているが、施設・管路の更新を行うため、優先度、費用対効果等を考慮していく必要がある。

⑤料金回収率について、（H30決算）52.18%から（R1決算）57.24%と5.06Pt増加しているが給水収益のみで賄えておらず、一般会計からの繰入金により不足額を補填している状況であり、適切な料金収入の確保に努めていく必要がある。

⑥給水原価については、（H30決算）416.56円から（R1決算）379.18円と△37.38円となっているが、依然として全国平均・類似団体平均と比較高い数値である。維持管理費等の削減に努力していく必要がある。

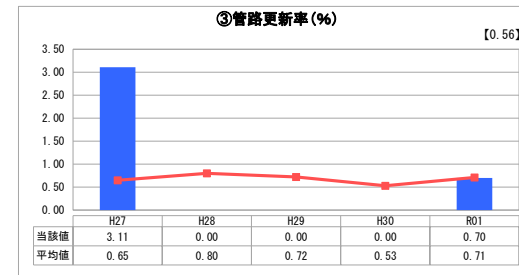
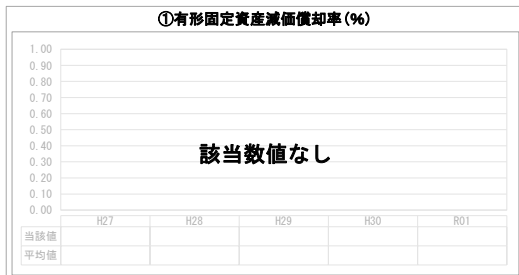
2. 老朽化の状況について

①該当数値なし。

②該当数値なし。

③浄水場、配水池などの施設や水道管ともに年々老朽化が進み、大幅な改修の必要性や漏水による修繕が増加している状況にある。施設・設備については計画的・効率的な更新を実施していく必要がある。また老朽管については管路更新整備計画を策定し、効率的な布設替えを行い安定的な給水確保を図る。

2. 老朽化の状況



全体総括

給水人口は今後も減少が予測されるため、料金収入のみでの事業経営は難しく、また施設や管路ともに老朽化が進み、大幅な改修の必要性や漏水による修繕が増加している状況にあり、今後も一般会計からの繰入金が必要な状況である。その中で、効率化によるコスト削減や適切な施設規模での経営を行い、健全かつ効率的な経営に取り組んでいく。なお、平成29年3月に美里町簡易水道事業経営戦略を策定している。